

令和6年度 博物館分館展示計画（案）

展示会名	備考
<p>（記念館）</p> <p>収蔵品展 海野光弘 「花の便り」</p> <p>開催期間：4月2日（火）～6月9日（日）</p>	<p>内容：五箇相倉（富山県）と白馬・鬼無里・塩尻（長野県）を描いた版画作品を展示する。</p> <p>コンセプト：春から夏にかけての、忘れられし日本の原風景をお楽しみいただく。</p>
<p>（日本家屋）</p> <p>海野光弘 作品展示</p> <p>開催期間：4月2日（火）～6月16日（日）</p>	<p>海野光弘の作品を展示。</p> <p>※東北などの遠方からのお客様もある中、年間を通じて、展示替えて海野作品が観られない期間が発生しないよう、丁寧に選択して展示する。ガラスケース2台を利用して、普段見られない資料を展示している。民俗資料の展示や、市民の思い出話をパネル化した「島田のあの頃の話「あんどきやあね」」展示と連動する。</p>
<p>（記念館）</p> <p>収蔵品展 海野光弘 「静岡の風景」</p> <p>開催期間：6月15日（土）～9月1日（日）</p> <p>※ほか候補企画案</p> <p>「日本版画協会巡回展」</p> <p>「澤田祐一展」（本館・分館共通展）</p>	<p>内容：宇津ノ谷シリーズや、静岡三十五景など、静岡県内を描いた版画を紹介する。</p> <p>コンセプト：地元の作品に焦点を当て、まとめて展示する機会とする。</p>
<p>（日本家屋）</p> <p>開催期間：6月22日（土）～9月8日（日）</p>	<p>海野光弘の作品を展示</p> <p>※同じく</p>
<p>（記念館）</p> <p>収蔵品展 海野光弘 「色とりどり」</p> <p>開催期間：9月7日（土）～12月8日（日）</p> <p>※または「青木晴美」展</p>	<p>内容：空の青、自然の緑、花の華やかな色など、色を切り口に、作品を展示する。併せて、さわやかな風や、しんと冷え切る冬の空気など、描かれないものまでも感じられる海野版画の魅力を紹介する。</p> <p>コンセプト：手作業で丁寧に刷られた木版画の、インクの色や紙の色の奥深い味わいを紹介する。</p>
<p>（日本家屋）</p> <p>海野光弘 作品展示</p> <p>開催期間：9月14日（土）～12月15日（日）</p>	<p>海野光弘の作品を展示</p> <p>※同じく</p>

<p>(記念館)</p> <p>収蔵品展 海野光弘 「版画の記憶」</p> <p>開催期間：12月14日(土)～令和7年3月23日(日)</p>	<p>内容：版画日記、朝鮮部落、かえるシリーズなど、海野光弘氏が10代の頃の作品を展示する。併せて、当時の日記を読み解き、青少年時代の海野氏の想いを知る。</p> <p>コンセプト：海野光弘さんの高校生の頃の日記を調査し、その結果を作品と共に紹介する。</p>
<p>(日本家屋)</p> <p>海野光弘 作品展示</p> <p>開催期間：12月21日(土)～令和7年4月13日(日)</p>	<p>海野光弘の作品を展示</p> <p>※同じく</p>
<p>展示に係る催し物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員によるギャラリートーク 	

どの展示も、分館の日本らしさ・懐かしさ・くつろげる空間を満喫していただくための一端を担う。